祝 日本農業遺産

比企丘陵の天水を利用した谷津沼農業システム

国営武蔵丘陵森林公園は関東一沼の多いところ。
今なお周辺地域で継承されている伝統的な農法は
里山の貴重な生きものや文化を守り育んでいます。

令和５年１月、埼玉県比企丘陵地域で継承されている
天水を利用した谷津沼農業システムが
「日本農業遺産」として認定されました。

当地域は地理的に河川から水を引くことが難しく
なだらかな丘陵地に発達した特徴的な地形の「谷津」を活かして
谷筋ごとに天水を水源とする谷津沼（ため池）を築きました。

古くは古墳時代から、新しいものでも江戸時代の初頭頃までの
約 1,000 年を費やし整備された農業システムは、今なお現役として
首都近郊の里山に息づく貴重な生きものや文化を守り育んでいます。

「日本農業遺産」認定を記念して 講演会を開催します（無料）

日　時　　令和５年 11 月 12 日（日曜）．午後１時３０分～（開場は１時間前）
会　場　　国立女性教育会館（ヌエック）講堂／埼玉県比企郡嵐山町菅谷 728
講　師　　広田 純一　岩手大学名誉教授
申　込　　比企丘陵農業遺産推進協議会ホームページや
認定地域内の担当窓口へ。

【事前申込】
当協議会 HP

比企丘陵（ひききゅうりょう）農業遺産推進協議会
熊谷市・東松山市・滑川町・嵐山町・小川町
吉見町・寄居町・JA 埼玉中央・JA くまがや

担当窓口／吉見町産業振興課　☎ 0493-54-5027（直通）